

# 巻頭言

## いろいろな顔がある街

財団法人 不動産適正取引推進機構

専務理事 堀之内 博 一

阿部前専務理事の後任として4月1日に専務理事に就任いたしました。ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

私が勤務いたします財団法人不動産適正取引推進機構は、官庁街霞が関から地下鉄で一駅程離れた港区虎ノ門3丁目にあります。

最寄駅は地下鉄の虎ノ門駅と神谷町駅です。虎ノ門は江戸城の南端にあった門の名前に由来し、神谷町駅近辺は、駅が開業した昭和39年当時は芝神谷町でした。昭和52年に芝西久保巴町が、現在機構のある虎ノ門3丁目に、芝神谷町も同5丁目に変更されました。

街中でまず眼に入るのは東京タワーです。高層のオフィスビルやマンションがそびえ、大使館も多く立地しています。また、寺社が並び、商店、骨董屋さんがあるなど、歴史、ビジネス、日常の生活など多様なものを一度に見る思いがします。街の各所からその緑が見える愛宕山（標高26m）を始め自然の起伏が一带にあり、短時間の散歩も結構いい運動になります。一言でいえば、「いろいろな顔がある街」といったところでしょうか。

貝塚の跡があり、中世には街道が近くを通っていたようです。太田道灌が江戸城を築城

した頃に、城近くから遷されたといわれる神社もあり、随分古くから開けていた地域と思われます。旧芝神谷町あたりは、17世紀初め頃に徳川家康に従って江戸入りした家臣たちが住み始め、その後郷里である三河国神谷村の名を村名にしました。江戸の街並みが整う頃には、武家屋敷を中心に、寺社地があり、町屋もある街並みであったようです。

愛宕山は23区内の自然の最高地点で、山頂には徳川家康が創建した愛宕神社があります。江戸の街並や海が見渡せるので江戸庶民に人気の場所で、その様子は歌川廣重によって描かれています。周辺の寺社への参詣、見物の人たちもあってそれなりの賑わいがある街だったのかなと想像いたします。

愛宕山の麓には、幕末の安政年間にオランダ、フランス、ロシアの外交使節の宿舎となったお寺があり、日仏、日露通商条約を締結した際の使節も宿所としました。

東海道の脇街道が機構のあるビルの辺りを通っていたようです。この街道を江戸庶民や旅の人々が往来し、外国の使節団も利用している光景を思わず描いてしまいます。

街を眺め歴史のひとつを思い描くのは楽しいひと時ですが、何世紀もかけてこの街を形成するためにこの地を拓いた人、移り住んだ人、様々な仕事を通じて関わった人々を思うと感謝の気持ちを持たざるを得ません。